

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

目を閉じれば晴れやかな空が、
耳を澄ませば小鳥のさえずりが現れる。
温かな音色が紡ぐ、自然のファンタジー。

田

BEETHOVEN

園

ウィーン国立歌劇場やメトロポリタン歌劇場など
世界の檜舞台で活躍するドイツの名匠

セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

Conductor= SEBASTIAN WEIGLE

©読響

ウィーン・フィルの首席奏者として活躍し、
欧米各地の聴衆を魅了する世界的名手

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット)

Clarinet= DANIEL OTTENSAMER

©Andrej Grlic

《土日の午後を彩る名曲選》

ニコライ: 歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲

NICOLAI: "Die lustigen Weiber von Windsor" Overture

ウェーバー: クラリネット協奏曲第2番 変ホ長調 作品74

WEBER: Clarinet Concerto No. 2 in E flat major, op. 74

ベートーヴェン: 交響曲第6番 へ長調 作品68 「田園」

BEETHOVEN: Symphony No. 6 in F major, op. 68 "Pastoral"

読売日本交響楽団 第263回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 263

読売日本交響楽団 第263回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 263

2024年 1月20日(土)
Saturday, 20 January 2024

2024年 1月21日(日)
Sunday, 21 January 2024

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

チケット料金 S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ **読響チケットセンター0570-00-4390** (10時~18時・年中無休/年末年始を除く)

■ 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■ 読売日本交響楽団 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター-0120-415-306 (予約受付: 平日9時~17時) ■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

沸き立つ自然の生命力！名匠ヴァイグレが「田園」を鮮烈に響かせる！ ウィーンの伝統を受け継ぐオッテンザマーが温かい音色と卓越した技巧を披露。



田園 BEETHOVEN 第6

ドイツの名匠ヴァイグレが指揮台に上がり、ドイツ作品を並べた温もり溢れるプログラムを指揮します。ベートーヴェン、ウェーバー、ニコライの3つの傑作を取り上げ、休日の午後を優雅に彩ります。

メインには、言わずと知れたベートーヴェンの傑作、交響曲第6番「田園」を演奏します。ベートーヴェンが唯一、自身で表題をつけた交響曲とされるこの作品は、ベートーヴェンが目にした、のどかなウィーンの田舎を思わせるような親しみやすい旋律から始まり、田舎の田園風景や小川の情景、小鳥のさえずり、雷雨といった豊かな自然や天候の変化などを力強く表現しています。ヴァイグレが、ドイツの本流らしい構築性に富んだ「田園」を振り、温かくも荘厳な響きで会場を包み込むでしょう。

前半には、世界で活躍しウィーン・フィルの首席奏者を務めるダニエル・オッテンザマーが登場します。父は元ウィーン・フィル首席クラリネット奏者、弟は現在ベルリン・フィル首席奏者というクラリネット一家に生まれ育ったダニエルは、ウィーンの伝統を受け継いだ芯がありつつも温かい独特な音色で聴衆を魅了します。今回は、クラリネット作品を多く残したウェーバーの作品からクラリネット協奏曲第2番を演奏します。第1楽章は華やかで技巧的な旋律から始まり、伸びやかな第2楽章を経て、舞曲風の第3楽章では超絶技巧を披露し会場を沸かすでしょう。ウィーン伝統の音色とその洗練されたテクニックを、どうぞご堪能ください。

1曲目は、ウィーン・フィルの創設者であるドイツの作曲家ニコライがシェイクスピアの同名の戯曲をもとに作曲した歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」から序曲を演奏します。旋律が美しく喜劇的であり、ユーモアと新鮮さの溢れる作品です。ヴァイグレが作り上げる優雅な土日の午後にあふさわしい、上品な喜歌劇風序曲で演奏会が幕を開けます。

ドイツとオーストリアの美しい自然や街並みを思わせる音楽を、最後まで存分に楽しんでください。

セバスティアン・ヴァイグレ (常任指揮者)

Conductor= SEBASTIAN WEIGLE

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス「影のない女」を振り、雑誌『オーパングェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年から23年夏までフランクフルト歌劇場音楽総監督を務めた。同歌劇場が『オーパングェルト』の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。パイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などオペラとシンフォニー両方で活躍している。

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット)

Clarinet= DANIEL OTTENSAMER



ウィーンの伝統を受け継ぐ俊英。2009年からウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者として活躍している。09年にはカール・ニールセン国際コンクールで入賞。ソリストとしてマゼール、ドゥダメル、ルイーダ指揮でウィーン・フィル、モーツァルテウム管などと共演を重ねている。21年にはザルツブルク音楽祭にソリストとしてデビューし、好評を博した。録音も多く、ソロではモーツァルト、フランゼ、ニールセンの協奏曲をウィーン・フィルなどの共演でリリース。22年に幼なじみのS.コンツ（チェロ）、C.トラクスラー（ピアノ）と組み、あらゆる時代のクラリネット三重奏曲（全28曲）を取り上げた「クラリネット・トリオ・アンソロジー」（7枚組）をデッカから発売し、全12公演のアジア・ツアーを成功させた。

読売日本交響楽団 第263回 土曜マチネーシリーズ

2024年 **1月20日** (土) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

読売日本交響楽団 第263回 日曜マチネーシリーズ

2024年 **1月21日** (日) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分（*駅地下通路2b出口と直結しています）

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます（要学生証/25歳以下）。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【**見逃し**】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります（公演1週間前までに予約）。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306（予約受付：平日9時-17時） ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296